

令和5年度

こども文化クラブ事業実施報告書

NPO 法人 鶴岡市芸術文化協会

# 令和5年度こども文化クラブ事業実施報告書

## 1. 実施概要

鶴岡市総合型文化クラブ事業補助を受け、市内7地区の放課後子ども教室と連携し、鶴岡市芸術文化協会の会員が講師となり、短歌、俳句、和紙ちぎり絵、油絵、造形、ステンドグラス、尺八、文化箏、合唱、フラダンス、演劇、ミュージカル、茶道、華道などの芸術文化活動を子どもたちが体験する機会を設けた。また、鶴岡市中央公民館や東田川文化記念館と共催で、市内小学生児童を対象とした体験教室（和紙ちぎり絵・文化箏・ミュージカル）を開催した。

## 2. 実施分野

部門	分野	講師団体
文芸	短歌	稲京短歌会
美術	和紙ちぎり絵	鶴岡和紙ちぎり絵サークル
	造形	白鷺社
	ステンドグラス	ステンドグラス“光彩”
邦楽	尺八	鶴岡竹道会
	文化箏	山形県大正琴・文化箏愛好会
洋舞	フラダンス	ハウオリフラスタジオ
	演劇	表現舎刻一刻
	ミュージカル	出羽庄内市民ミュージカル
茶道	茶道	裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区・遠州流茶道山形支部
華道	華道	草月会山形県支部鶴岡地区・古流松應会庄内支部

## 3. 実施会場

- ・中央公民館 (市内小学校児童対象の教室)
- ・藤島体育館 (市内小学校児童対象の教室)
- ・上郷コミュニティセンター (上郷地区放課後子ども教室)
- ・三瀬コミュニティセンター (豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室)
- ・由良コミュニティセンター (豊浦地区(由良)放課後子ども教室)
- ・湯野浜コミュニティセンター (湯野浜小学校放課後子ども教室)
- ・大山コミュニティセンター (おおやま放課後子ども教室)
- ・西郷地区農林活性化センター (西郷地区放課後子ども教室)
- ・鼠ヶ関小学校 (ねずがせき放課後子ども教室)

## 4. 実施期間

令和5年6月から令和6年2月まで

## 5. 実施回数等

会場	開催数	参加人数	分野
中央公民館	6	27	和紙ちぎり絵・文化箏
藤島体育館	3	7	ミュージカル
上郷地区放課後子ども教室	10	102	文化箏・尺八
豊浦地区（三瀬）放課後子ども教室	7	82	和紙ちぎり絵・ステンドグラス・文化箏・茶道
豊浦地区（由良）放課後子ども教室	10	112	ステンドグラス・文化箏・フラダンス・ミュージカル
湯野浜小学校放課後子ども教室	10	136	造形・ステンドグラス・文化箏・茶道・華道
おおやま放課後子ども教室	6	73	短歌・ステンドグラス・茶道・華道
西郷地区放課後子ども教室	5	152	短歌・造形・ステンドグラス・茶道
ねずがせき放課後子ども教室	8	146	和紙ちぎり絵・ステンドグラス・演劇・茶道・華道
合計	65	837	11分野

## 6. 実施状況写真



短歌

(稲京短歌会)



和紙ちぎり絵

(鶴岡和紙ちぎり絵サークル)



造形

(白甕社)



ステンドグラス

(ステンドグラス“光彩”)



尺八

(鶴岡竹道会)



文化箏

(山形県大正琴・文化箏愛好会)



フラダンス

(ハウオリフラスタジオ)



演劇

(表現舎刻一刻)



ミュージカル

(庄内出羽市民ミュージカル若手塾)



茶道

(遠州流茶道山形支部)



華道

(古流松應会庄内支部)

7. 事業費

(収入)	市補助金	800,000円	
			計 800,000円
(支出)	講師等謝金	467,000円	
	旅費交通費	89,081円	
	通信運搬費	8,064円	
	消耗品費	202,990円	
	貸借料	66,000円	
	雑費	5,115円	
			計 838,250円
			▲38,250円 (芸文協負担)

※参加児童の費用負担はなし

## 8. 子ども・関係者の声

### (1) 子ども達の感想

#### 【中央公民館】

(和紙ちぎり絵) 朝陽第5小 1年 富樫 愛咲 (とがし あいさ)

わたしは、ちぎりえきょうしつについて、はじめてわしをさわりました。せんせいからわたしにはうらとおもてがあることをききました。てでわしをちぎって、おはなやきんぎょをつくりました。むずかしいところもがんばってつくりました。ちがうえもつくってみたいです。

(和紙ちぎり絵) 朝陽第6小 1年 五十嵐 彩笑 (いがらし さえ)

おかあさんに、「ちぎりえやってみる？」といわれて、どんなことをするのか、しりたくなりました。ちぎりえきょうしつで、はじめてわしをさわりました。おもったよりかたくて、さいしょはちぎるのがむずかしかったです。でも、コツをつかんだら、ちぎれるようになりました。とってまもかわいいさくひんができて、うれしいです。

(和紙ちぎり絵) 朝陽第2小 5年 阿部結月

私はこの教室で学んだことが2つあります。一つ目は、紙には大きく分けて洋紙と和紙の二種類があり、洋紙はふだん使っているコピー用紙などで、和紙は人の手で作った物だということです。二つ目は、和紙は表と裏があり、表はつるつるしていてうらは少しガサガサしていて半紙みたいだと思いました。この体験で、最初は少し不安だったけど先生たちがサポートしてくれて完成できてよかったです。なのでとても楽しかったです。

(和紙ちぎり絵) 京田小 5年 渋谷 優花

ちぎり絵は、おり紙やちよ紙で作った事があったけど和紙は初めてさわりました。色がきれいでちぎると紙にフサフサができて、のりではると風や水の流れがわかるようでした。作った花と金魚はやさしくて、かわいくできてうれしかったです。

(和紙ちぎり絵) 朝陽第5小 6年 安田 凧瑠 (芸文だより一部掲載)

半紙のように表裏のちがいがあっておもしろかったです。和紙のせんいの出方や、色のちがいをよく見て先生方は教えてくださり、初めてやったのにとってもきれいにできてうれしいです。ちぎった和紙をなでるようになびかせながらのりを付けることだとか、しっかりおさえながらちぎることだとか、その他いろいろ細かく教えてくださって、本当に動き出しそうな感じの作品になって、細かい工夫で和紙は「生きている」という感じがでていてすごいなと思いました。

(文化琴) 朝陽第5小 2年 鈴木 ゆかり

ことで、さくらさくらをひきました。はやくひかなければいけないところがあったので、リズムにあわせるのがむずかしくて、さいしょはうまくひけませんでした。でも、あきらめないでれんしゅうしたら、だんだんうまくなってきたので、あきらめないでれんしゅうすることがだいじだとおもいました。

**(文化琴) 朝暘第6小 5年 齋藤 那和 (さいとう なな)**

音楽の授業でひいたことよりも文化ことは、小さいけれどきれいな音色は同じでした。ひく時は、つめではじくだけでなく、左手の指で弦をはじくやり方もあって面白いなと思いました。こと柱の場所を変えると音が変わって色々な音階が作れること、強くはじくと大きくて力強い音が出ることも分かりました。アレンジした「さくら」をみんなでかつこよくひけてうれしかったです。もっと色々な曲をひいてみたくくなりました。

**(文化琴) 朝暘第6小 5年 飯澤 唯**

私は、ことを初めてひきました。ことは、とてもきれいな音で、ひいていると、楽しくなりました。「さくら」という曲をひきました。最初は、ひく音をまちがえたりして、むずかしかったけど、先生に教えてもらい、音の位置を覚えられるようになりました。家でも何度も練習してひけるようになりました。ひけるようになると、うれしくなってもっと楽しくなりました。ことをひく機会はなかなか無かったので、良い体験でした。

**【藤島体育館】**

**(ミュージカル) 東栄小学校 3年 矢内 こはる (芸文だより一部掲載)**

最初は声が出なかったけど、慣れると楽しくなってきた声も出るようになり、みんなにほめられてうれしかったです。

**【上郷地区放課後子ども教室】**

**(文化箏) 6年 山戸田 碧希 (芸文だより一部掲載)**

僕は、今年でこのクラブに入るのは六年目となりました。このクラブの中では、一番年上で、六年目というのもあって、下学年に教えたりしながら活動しました。毎年やっていく中で、どんどん上達し、発表会では下のパートをやったりもしました。難しいところもたくさんありますが、演奏できるととても楽しいので、また来年も続けていきたいと思っています。

**(文化箏) 2年 はせ川 かな**

わたしは、ことをやってみたいと思ってなりました。ことは、つめをつけてひきます。ひく時むずかしいけどがんばりました。タクトで、さくらをひきました。たくさん人がいてきんちょうしました。ことは、とてもきれいな音がします。たくさんの人に聞いてもらってうれしかったです。三年生になってもつづきたいです。

**(尺八) 1年 せいの まゆ**

わたしは、はじめて尺八をしました。さいしょはあんまりできなかつたけど、いっぱいれんしゅうしたらできるようになりました。さいしょはどこに口をあてるかわからなかつたけど、いっぱいれんしゅうしたらできました。「ふける人はぞうさんをふいてみてね」と、先生がいていました。わたしはつぎは手のいちがわかりませんでした。わたしは、ぞうさんは一年のうちにできなかつたけどたのしかったです。二年生になってもがんばります。

**(尺八) 5年 本間 琉椰 (芸文だより一部掲載)**

ぼくは、尺八を体験して2年たちました。音はでるけど、曲をふくまでにはいかないので来年こそは、曲をふくところまでできるようになりたいです。また、真けんに練習に取りくむことができてよかったと思いました。

**【豊浦地区(由良)放課後子ども教室】**

**(フラダンス) 3年 佐藤 青 (芸文だより一部掲載)**

わたしは、フラダンスを体験して、ゆっくりな曲もあれば、テンポのいい曲もあるのでそのスピードをあわせることがむずかしかったです。とくに、足のステップや手の動きなどを注意しておどりました。発表会などでは、たくさんの方がいる中でおどるのはきんちょうしたけれど、笑顔でおどれてよかったです。フラダンスを教えてくれた先生は、リズムにのせてダンスを教えてくれました。それをいしきしておどれました。楽しい体験でした。

**(フラダンス) 3年 板垣 香蓮**

フラダンスはやったことがなかったけど、子ども教室のみんなや先生と練習をして、できるようになりうれしかったです。タクトやいろんな所で、たくさんのお客さんの前で発表もしました。ちょっときんちょうしてむずかしかったけどさいごまでおどれてよかったです。

**(ステンドグラス) 2年 たむら はな**

ステンドグラス教室にさんかして、思ったかんそうは、いろんな色があって、どの色にしようかと思いました。わたしは、絵をソフトクリームをえらんできれいになってよかったなと思いました。みんなの作品もいいなと思いました。

**(ステンドグラス) 5年 濱中 咲輝**

初めて、ステンドグラスに挑戦しました。初めは作り方がわからなかったけど先生におしえてもらって台紙にのりをつけてシーグラスをはりつけていきました。そして形が書いてある紙を台紙の下にしいて作りました。気をつけたことは、のりがかたまってしまうとわるいので、ちょっとずつのりをつけてシーグラスをはりつけていきました。わたしは、海に落ちているシーグラスを再利用しているからいいと思ったし楽しかったです。

**(ミュージカル) 4年 佐藤 虹奈**

私は、はじめてミュージカル教室に参加しました。初めは音に合わせてステップをしたり、色々なふりつけをしました。音楽がゆっくりで合わせるのが、むずかしいなと思いました。でもなんだか先生と一緒にふりつけを練習していくうちに、おぼえていって楽しく練習することができました。本番では、大きなステージに立って、たくさんの方の前でおどるのはすごくむずかしくきんちょうしました。初めてでいい経験になりました。

**(ミュージカル) 3年 佐藤 莉合**

わたしは、ミュージカル教室を体験しました。ミュージカル教室でははじめにステップの練

習をしました。ステップは細かくてむずかしかったけどやっていくうちに出来てよかったです。他にもきれいな色のぬのを使うおどりがあり、そのおどりでは、練習していくうちにみんなと息が合っとうれしかったです。去年の十一月には練習したおどりを中央公民館で発表しました。すごくきんちょうしたけど、息を合わせて最後までおどれてよかったです。

**(文化箏) 3年 しらはた りいさ**

私はこども文化クラブで「文化ごと」を体験しました。1年生の時からやっていますが、ひさしぶりにやったら、あいさつの仕方をわすれていました。先生から教えてもらったことはしっかりおぼえようと思いました。今年は「さくら」を習いました。皆としせいを正してしっかりひきました。地いきの新年会でも発表しました。来年もしっかり先生の話聞きながら、上手にひけるようになりたいです。

**【豊浦地区（三瀬）放課後子ども教室】**

**(ステンドグラス) 1年 佐藤 心波 (さとう ここな)**

わたしは、はじめてのステンドグラスきょうしつについて、わくわくしていました。つくりはじめたらたのしくて、またつくりたいとおもいました。きかいがあつたらおうちでもやりたいとおもいます。

**(和紙ちぎり絵) 2年 石塚 葉月 (いしづか はづき)**

和紙ちぎり絵は、ぜんぜんルールは知らなかったけど、どんなことをするのか、楽しみでした。和紙ちぎり絵の先生に「大きくちぎるといいよ」ときいてわかりやすかったです。上手に花ができてとてもうれしかったです。帰ったらお母さんが「上手にできたね!」と言ってくれてとてもうれしかったです。初めてだったけど、とても楽しかったです。

**(文化箏) 3年 佐藤 明奈 (さとう あきな)**

ことは、初めて体けんしました。さいしょは、全ぜんなれなくて、みんなにおいつけなかったけど、先生から音階を教してもらいながら、たくさん練習するごとにだんだんなれてきました。ことをさんぜ地区のふくしまつりで発表した時は、とてもドキドキしました。でも、発表するのはとても楽しかったし、また来年もいろんなことにチャレンジしたいと思いました。

**(茶道) 4年 佐藤 成 (さとう せい) (芸文だより一部掲載)**

保育園以来、久しぶりに茶道をしました。先生に教えてもらったしゅん間、頭で保育園で教わった礼儀や、あいさつ、茶わんの回し方をパツと思い出しました。最初におかしをいただきました。口の中が甘くなったところに先生がたててくださったお茶がとどいて飲みました。口の中がマイルドになり、おいしかったです。子ども教室で、茶道や華道、ことなどいつもはできない体験ができてうれしいです。

## 【湯野浜小学校放課後子ども教室】

(文化箏) 1年 このの このみ

せいざしてせなかがいなくなってしまうけどたのしかったです。むずかしかったです。やりたくなかったけどいっしょうけんめいがんばりました。

(ステンドグラス) 2年 小松 未波 (芸文だより一部掲載)

ステンドグラスをやらせていただきありがとうございます。楽しかったです。ぼくもみんなも、きれいにていねいにやらせていただきました。初めてだったので、少ししっぱいしたところもありましたがうれしい気持ちになりました。おかげで文化祭にもかざられました。本当にやらせていただきありがとうございます。またやってみたいです。そうゆう気持ちにもなりました。

(茶道) 2年 あだち そうすけ

楽しかったです。そのりゆうは、お茶をまぜることが楽しかったです。おかしがおいしかったです。はじめて分かりました。お茶がにがかったけど、なれました。いっしゅんにがかったです。おかしは、ぼくがすきなおかしだったからあまかったです。

(華道) 2年 五十嵐 陽永 (いがらし ひえい)

お花の先生におそわって、きれいな花を作りました。家に持ち帰ってかざったらへやが明るくなりました。また作りたいと思いました。

(造形) 2年 本庄 拓都

ぼくはかめと魚を作りました。なぜかめと魚を作ったかというと、海の生き物が好きだからです。むずかしかったところは、魚を小さくすることです。本物のかめと同じように色ぬりをがんばりました。初めてだったけど上手に出来てうれしかったです。今度は、大好きな車をかきたいです。

## 【おおやま放課後子ども教室】

(華道) 6年 相馬 杏花

この前は私たちに華道を教えてくださりありがとうございます。初めての華道でうまくできるか心配でしたが、ていねいに教えてくださいました。十二月ということもあり、クリスマスにも、お正月にもかざることができました。五種類の花材を生けました。赤芽やなぎがうまくさせず苦勞しました。家に持って帰ってげんかんにかざったらぱっと明るくなりました。またやってみたいと思いました。

(ステンドグラス) 1年 せお み音

わたしは、はじめてステンドグラスをしました。ガラスがきれいで、いろいろなかたちやいろがありました。一かい目は、ステンドグラスのケースをはんたいにしちゃったけど、二かい目は、まえ、うしろを見ながらやって、せいこうしました。わたしは、花が大すきなので花に

しました。かんせいしたらとてもきれいな花でした。うちのげんかんにおいて、おかあさんが、「きれいだね。」といました。

**(茶道) 1年 田澤想太郎**

正さかあ。足しびれるし、いたくなるからにが手だなあ。それにおちゃはにがそうだなあ。きものをきた先生たちがきた。おちゃはたてるというらしい。早くたてたいなあ。さあ、ちゃせんをもってあわだてるぞ。そのまえにあまいおかしをたべた。たつのえがかいてある、おかしだった。シャカシャカと音がする。ちゃわんをもって二回まわす。ごくりとのんでみる。にがーい。ちょっとにがてなあじ。こんどはぜんぶのむぞ。

**(短歌) 1年 さとう ゆま (芸文だより一部掲載)**

わたしは、たんかということをはじめてききました。やってみて、むずかしそうだとおもったけど、たのしくて3まいもかきました。うちの、おじいちゃん、おばあちゃん、おかあさん、おとうさんにも、みせたいです。やってみてうちでも、やりたくなりました。おしえてくれてありがとうございます。このつぎは、シャトルランのことをかいてみたいです。

**(短歌) 1年 さとう おとね**

きょうはじめてたんかをしてみたら、わたしは、たんかってどんだけむずかしいんだろうとおもいました。やってみたら、たんかってこんなにかんがえるんだろうとおもいました。かくのまたのしいし、こんなにあたまをつかうんだなとおもいました。またこんどもしたいとおもいました。つぎもやりたいです。

**【西郷地区放課後子ども教室】**

**(造形) 3年 東海林 桜太**

ぼくは、木の枝でによきによきを作りました。によきによきを作るときに、ふたつ工夫しました。ひとつめは、とにかくくずれないようにするために、ゆっくりむすんだことです。ふたつめは、きれいに作れるように色々な色のモールを使って木の枝をむすんだことです。によきによきはとてもおもしろいものだなと思いました。またやりたいです。

**(造形) 4年 本間 桃羽 (芸文だより一部掲載)**

によきによきを作るとき、木の枝を、ねらった場所にピンポイントでさすのがとてもむずかしかったです。ほかにも、木の枝とモールをつなげるとき、ぐらぐらする不安定な所をつなげるのがむずかしかったです。個性的に飾ろうと思ったけど、モールをつける場所がなかなか決まらなくて、なかなか思い通りにいきませんでした。今度やるときはいろいろなアイデアを出してもっと個性的な作品を作り出したいと思いました。

**(スタンドグラス) 6年 佐藤 来葉**

私はスタンドグラス作りに参加しました。私は二回目ですが、小さなガラスを並べて土台に貼り付けるのがとても難しかったです。一回目よりも複雑な図柄に挑戦したので、より難しく

感じました。苦勞して最後まで作り終わって、達成感を感じることが出来ました。先生から仕上げてもらって、完成したものをもらったとき、とてもきれいで、作ってよかったと思いました。

**(茶道) 6年 五十嵐 凜**

私は茶道教室に参加しました。前にも何回か参加しているけれど、お茶をたてるのは難しかったです。先生はすごく速くお茶を混ぜていて、すごいなと思いました。お茶とお菓子をいただいて、苦かったり甘かったりして、自分はちょっと苦手だったけど、このおいしさがわかるようになりたいなと思いました。

**(短歌) 1年 阿部 煌也**

ぼくははじめて短歌教室にいったときどきしたけどたのしかったです。短歌をつくるのはおもしろかったけど、五七五でかくのがたいへんでした。がんばってかんがえたら、いっぱいつくることができてうれしかったです。たのしかったのでまたいきたいです。

**(短歌) 3年 本間 結衣**

わたしは、はじめて短歌をつくって、むずかしかったけど、できたときはうれしかったです。はじめてやって上手にできたから、こんどはわたしのおばあちゃんに短歌を教えてあげて、いっしょにやってみたいです。楽しかったし上手にできたので、またやってみたいと思いました。

**【ねずがせき放課後子ども教室】**

**(ステンドグラス) 1年 ほりい ちひろ**

ステンドグラスってなにをするのかたのしみでした。はじめに、クリスマスのえからリボンのついているベルをえらびました。かわいいのでえらびました。つぎに、先生が「セメダインのりをつけて、その上にガラスをならべていくよ」といいました。むずかしかったところはせんからはみださないようにガラスをおくところです。でもだんだんかたちができるたのしくなりました。またつくってみたいです。

**(演劇) 3年 五十嵐 心優 (いからし みゆ)**

えんげき教室でのわたしのめあては、お話をしっかりと聞き、声をはっきりと出すことです。発声練習の時大きな声を出せてよかったです。つぎにすきなものになってみようでは、わたしは石になりました。どうしてかという、この前お寺訪問でぎぜんをしたときのことを思い出したからです。先生からほめられてうれしかったです。つぎはだりょうまつりのおどりです。前にもやっていたのでわすれていたところもあったけどうまくおどれました。かきを持って「やっしょー、まかしょーしゃんしゃんしゃん」のところがとても楽しかったです。またぜひやりたいです。

**(和紙ちぎり絵) 1年 いからし りのん**

ちぎりえきょうしつで、はじめてお花のちぎりえをつくりました。はじめに、ピンクのかみ

をえらんで花びら四まいとはっばをつくりました。手でちぎっていくところがむずかしかったです。でも、人さしゆびがベタベタになっていくのがおもしろかったです。それと、ふでにのりをつけてきいろのかふんをつけました。お花がかわいくできてよかったです。先生に見せたらじょうずだねっていわれました。たのしかったです。

**(華道) 3年 佐藤 瑛太 (芸文だより一部掲載)**

生け花教室でびっくりしたことは、花だけでなく野菜も使ってびんに入れていったことです。きゅうりやかぼちゃ、ミニトマト、しいたけ、なすなどたくさんの野菜がありました。みんな好きなようにびんにかざっていきました。ぼくは、色々な野菜をかつこよく入れたかったけどむずかしかったです。先生が、「家でかざったあとは、料理して食べてね」と言ったところがおもしろかったです。

**(茶道) 4年 剣持 卯琉**

はじめに、先生からおじぎのしかたをおしえてもらいました。せんすを使ってあさいおじぎとふかいおじぎがあることを初めて知りました。一回目のお茶は、おかしを食べてから先生がたててくれたお茶を飲みました。おとなりの人に、「お先に」と言っておじぎをしてから飲みました。苦かったけどおいしかったです。二回目は自分でお茶をたてました。数字の一を書くように茶せんを上下に動かし泡が立ってきておもしろかったです。また、お茶をたててみたいです。

**(2) 講師・指導者の感想**

- ・教室も4年目となり積極的に短歌に向きあい1年生から6年生まで楽しく短歌づくりが出来、本当に良かったと思います。児童も喜んで短歌づくりに励みますので、年2回くらいできたらいいなあと感じました。

- ・最初不安な様子も見られたが、完成すると喜び、楽しかったと感想を述べてくれた。低学年は和紙をちぎる作業が大変そうだった。「和紙って強いネー」と言っていた。高学年は考えながら作品を制作していた。台紙の余白に余った和紙を貼ったりして楽しんでいる様子うかがえた。

最近「ちぎり絵」として(色紙・新聞・その他)色々な紙を使った作品があります。私は本物の和紙を子ども達にふれさせ、和紙を使っての作品制作を行っております。出来たら「和紙ちぎり絵」としていただけましたらと考えます。和紙＝日本の伝統工芸です。

中央公民館でのこども文化クラブは、3回コースで、台紙も大きいのを使用、和紙も自分で選択し、オリジナル作品を制作。大変有意義であった。

- ・初めて経験する内容だったため、始まって暫くは手探り状態でなかなか進まなかったが、徐々に緊張もほぐれ、楽しい雰囲気の中制作は進んでいった。3～4人ずつのグループ活動であったため、誰か一人が思い切ってやり始めると、柵状にして横に広げたり、縦方向に高く伸ばしたり、自然とグループの方向性が決まっていた。高学年の中には、こだわりを持って、空間を意識した高度な造形に取り組む子どもも居た。

- ・とても楽しそうに制作してくれていると感じます。
- ・9月に演奏してもらいたかったのが全地区1年生から6年生まで同じ曲「さくら」を頑張ってもらいました。4年生にならないと「さくら」を聴く機会がない昨今の音楽の授業ですが低学年の児童も無事にステージを務めてくれました。その後、冬から春先にかけて地域の皆様の前でも演奏する機会をもらえて喜ばしく思っております。

毎年のことですが、低学年の児童は正座することが辛いと思いますが、徐々に慣れてくると、演奏も上手になっていくものですね！

地区によって性格が違うものだと…面白く思いました。

今年度は早い時期から予定してもらえてありがたかったです。
- ・最初からの参加児童7名の内、5名は参加回数も多く、楽しそうに音出しに一生懸命取り組んでいました。低学年が多いこと、全学年皆お友達の感覚ですので、少々騒がしい状況であった。機材の破損に及ぶような行動があった場合は、それなりの注意はしましたが、楽しく音が出せるようであれば、落ち着きも見られると感じました。

尺八は、意外と難しい楽器のようです。継続して参加されるようであれば、曲の吹奏も可能になると思われます。
- ・3回のレッスンで、子ども達は楽しんでフリを覚えて、しっかりと曲の背景を思い浮かべながら、表現できるようになりました。ほとんどの子が去年から引き続きの子たちなので、覚えるのが早く、毎回驚いています。何より楽しんで踊るといふ、ダンサーにとって一番大切な事が出来ていることが嬉しいです。

子どもたちの笑顔を見るのが毎回楽しみです。短い時間の中で、集中して目をキラキラさせて学ぶ姿勢は素晴らしいものがあります。これからもこの事業が続いていくことを願います。毎年お声がけいただき感謝しております。
- ・本来、演劇は一定の時間が必要であるが、短い時間でも、人の前で声を出したり、表現することは、楽しさと表現に自信がつき、他の子供たちとの違いを感じたり、頑張ろうとする姿が見受けられる。参加者は低学年が多いので、演劇的完成には時間がかかるので、そういった台本を提供する工夫も必要である。

演劇は教育でもあるという考え方があるので、劇の内容で、物事の善や悪を知り、あるいは皆で力を合わせて、一つのものを作り上げることは、子どもの成長にとっても大事であると考えております。
- ・こども文化クラブは学年差もあり、ダンスと歌の組み合わせも時間にも理解に差が出てしまいます。でも本番衣装の話しや、公演の為の録音などの練習ではお互いに教え合い、励ます気持ちが強まったようでした。本番当日は、大正琴の発表日と重なり心配しましたが、ご父兄のご協力によりタイムスケジュールをこなし、ステージデビューを飾ることが出来ました。子ども達がステージに登場したとたん客席から「可愛い!」「きれい!」と声が飛び交い、嬉しい瞬間でした。子ども達の頑張りに拍手を送ります。

由良・三瀬地区は地域全体で子供たちを守り育てているように思います。出羽庄内市民ミュージカルのメンバーにこの地区からの参加者が多いのも子どもの頃から各種文化芸術に親しんでいる環境が大きいと感じます。

- ・楽しみにしてくれて嬉しく思いました。コロナ禍で今はゆるやかになりましたが、参加人数10名の制限で、みんなが参加できれば良いと思います。  
子ども達はとても素直に指導に取り組んでくれました。
- ・どの回も子ども達が真剣で集中してくれました。目をかがやかせて興味をもってくれていることがわかりました。また、スタッフの方たちの協力がとってもありがたかったです。道具持ち込みの量はとても多いのですが、12ヶ月それぞれの茶碗や季節に合ったなつめや軸を選ぶことが、自分自身の勉強にもなりました。ただ、茶せんを15本持つていくこともあり、金額もはり、大変でした。また、お菓子はあまりお金をかけないように気を配りましたが、なかなか難しいものでした。  
お茶は堅苦しく、苦く、楽しくないものという思いを少しでもなくして、楽しくおいしいもの、日本の文化の一つに接してもらい、素敵なものであることを知ってほしいという思いで行ってきました。安全に楽しく行うことが出来ました。  
希望を申せば、各放課後教室に最低2回は行えたらと思いました。学年別、季節別、とすることが出来るように思いました。
- ・1回目は低学年1年～2年生でしたので、なかに落ち着きの無い子がいて少々戸惑いもありましたが、お菓子とお茶とても美味しいと喜んで頂きほっとしました。2回目は3年～4年生でしたので、客の心得としての話しを良く聞いて茶筌の振り方も上手にできて喜んでいました。
- ・剣山を知っている子どもはいませんでしたので興味津々のようでした。又、初めてなので慎重にお花を剣山にさしていたようです。今回は直前に4年生3人が欠席になった為、6年生4人にひとりずつアシスタントにつくことが出来、基本に基づき今までより丁寧に指導できたのではと思っております。

### (3) 子ども教室関係者の声

- ・今年度は、尺八と文化箏の2教室に絞って実施させて頂きました。いずれの教室も初めて参加する児童が多数でしたが、飽きる事無く真剣に取り組んでいたようです。尺八では、1年生の児童も音が出せるようになり喜んでいましたし、文化箏においては荘銀タクトで開催された発表会に参加させて頂き貴重な体験となりました。
- ・特に低学年の児童は、最初の頃「教室にでたくない」、「遊びたい」などと言っていましたが、回を重ねるごとに楽しくなり、毎回積極的に参加していた印象です。文化箏は、途中から興味を持ち、参加したいという児童が数名いた為、先生に追加をお願いしました。

- ・コロナも落ち着き、発表の場が増えたことで、やる気に繋がっていると思います。3月には芸能のつどいも開催予定との事で、楽しみにしています。
- ・今年度ステンドグラスを初めて参加しました。支度（準備・用意）が電話での対応の為、図案の選択から子ども達への説明など、イメージが出来ず難しい部分がありました。事前に写真等参考になるものがあれば良かったのかなと思いました。
- ・文化箏、フラダンス、ミュージカルと舞台に立つものが多く、子ども達の練習時間を作るのに苦労しました。その中でご家族の方々のご協力があって、とても助かりました。子ども達は舞台から降りてくると「楽しかった」「やったー」と満足顔で達成感一杯の輝いた笑顔を見せてくれました。
- ・子ども教室の年間開催日数が決まっているのか余裕が少なく、色々な文化教室に参加できず残念です。
- ・新年になって地区の「新春のつどい」での事です。子ども教室 OG の中学生にお茶会の手伝いをお願いしました。かつて文化クラブでお茶のお点前を経験したので「なつかしい」「覚えているものだね」と言いながらお茶を点てたり、お運びをしてくれたりと活躍してくれました。文化クラブに参加していて良かったと感じたひとときでした。
- ・ステンドグラスは今年度初めての教室でしたが、出来上がりに大満足の様でした。地区の作品展にも和紙ちぎり絵と一緒に出展しましたが、地区の方々からも上手と褒められました。文化箏は地域での発表の場もあり、子ども達も練習を頑張って取り組んでいました。また、茶道教室なども人数の関係で学年を決めて開催しましたが、どの教室も講師の方々が丁寧に指導して下さい、楽しく開催する事ができました。
- ・なかなか体験できないことを習えるので、とてもいい取り組みだと思います。文化箏では、地域の発表会に出演するのに練習日を講師の方が合わせて下さり、また、衣装などの準備もしていただき、感謝しております。
- ・講師の方々に対しての、話の聞く態度、挨拶が良くない時があります。
- ・教室がどんな内容なのか、よくわからずに希望を出している現状です。希望をかなえていただき、また、準備や意欲の引き出し方などよく考えられていること感謝申し上げます。
- ・基本的に、子どもはしばらくできない自由遊びが大好きです。初めての取り組み（教室）に尻込みする場面もあります。文化事業ですので、やはりその子のセンスもありますが、できた作品はその子の良さがあらわれていて良かったです。
- ・1年～6年が登録しているが、夏休み以降になると、放課後子ども教室にくる子が少なくなり、1年と2年がほとんどです。低学年には難しいかなと思う教室もありました。
- ・教室によって、1回から4回と幅（回数）がありました。前年度までは2回ずつだったので、どうしてそうなったのか、また、教室によって違うのかわかりません。教室によって違うのでしたら、希望を出す前に知りたいです。
- ・子ども達には長い時間の正座が難しい。

- ・華道 たくさんの先生たちが来て下さって、ていねいに教えて下さいました。クリスマスと年末年始と使い回しできました。
  - ・ステンドグラス 楽しくできました。コミセンの展示にも出品できました。
  - ・お茶 なかなか正座は大変なようでしたが、茶のみにあらず、他のことも勉強しました。
  - ・短歌 子ども達が集中して4首までも作ってみる子もおり、感情を上手に表現できました。
  - ・どの活動も楽しく集中して活動することができました。先生たちの熱意も大変にありがたく、感謝いたします。
  - ・部屋数が少ないため、先生達をお待たせすることもあり、失礼しました。また来年もぜひ願っています。子どもたちの感性も広がりを見せています。
- 
- ・初めての、木の枝を使った造形は、子どもたちの反応はどうか、と心配もありましたが、予想以上に熱心に夢中になって取り組む子が多くいて、子どもたちの作る事への欲求は計り知れないものと再認識しました。
  - ・低学年に短歌教室は難しいかと思っておりましたが、少しやり方を教えると表現したい、伝えたい、という気持ちがあふれ出てきて、次々に作品を作り出します。言葉にして表す、という貴重な体験になっています。
  - ・ステンドグラスは、なかなか日常では体験できない貴重な作品を作らせていただいて、地区の文化祭に展示して、とても好評でした。
  - ・茶道教室は何年にも渡って教わっていますが、毎年子どもたちはとても楽しみにしています。お作法や、お道具の知識、季節ごとの設えなど、日本の伝統として、知っておくべきことを学んでいます。
  - ・大人数のところに教えに来てくださる先生方にとっても感謝しています。今後も事業を継続していただきたいと思います。
- 
- ・今年度は8回、貴重な体験活動をする事ができました。和紙ちぎり絵とステンドグラスは初めてでしたが、講師先生はじめスタッフの方々から子ども達に分かりやすく教えていただき楽しく取り組むことができました。
  - ・子ども達には、事前に希望を取ってから参加させています。どの講座も先生方が準備をしっかりされてきているので飽きることなく活動に集中して取り組みました。最後の感想発表では頑張った事や、難しかったことなど進んで発表していました。
  - ・ステンドグラス教室では一回だけだったので、後半乾かしての仕上げができず、講師先生はじめスタッフの方にやってもらいました。二回にすればよかったと反省です。ただ続けて二回の活動は子どもの参加状態で厳しくなることも考えられます。
  - ・参加してみての感想文はじっくり書く時間がとれずバタバタと終わってしまいました。一言感想カードに記入するなど手立てが必要なのかなと思います。ただ放課後の活動なので子ども達の負担になるかもです。
  - ・いつも、経費の負担なく無料で貴重な体験ができること。講師先生方の熱意、本当に素晴らしい取り組みだと思います。これからもよろしくお願いします。